新品種・新技術の確立
支援　取組概要
（R1～R2）

# 『大豆「ちくしB5号」の普及推進』

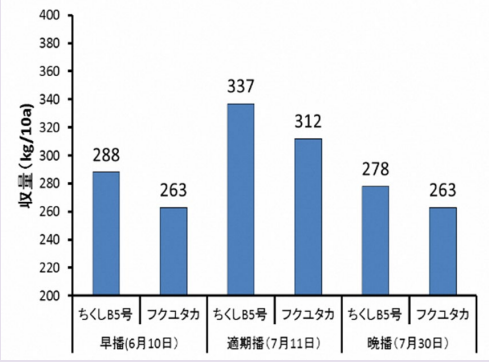
＝福岡県＝

**【全体概要】**
福岡県の大豆は、担い手の経営規模が拡大する中、気象変動の影響も重なり、播種等の作業に遅れによって収量・品質が低下している。多収で、より早くから播種が可能な新品種「ちくしB5号」の導入に取り組み、安定的な取引を確立する。

## 新品種・新技術等の概要

【ちくしB5号の特徴】 ※既存品種「フクユタカ」との比較

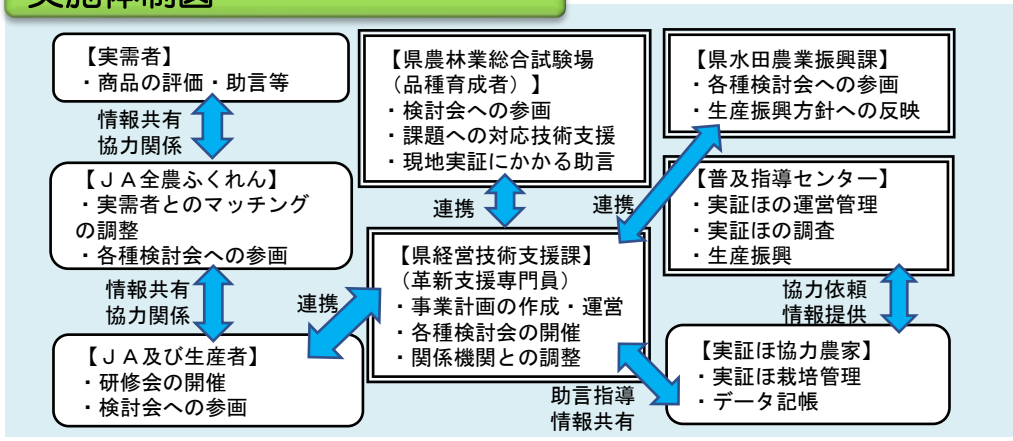
- 収量は約8%多い。耐倒伏性は強。
- 播種適期幅が広く、6月中下旬から早播きできる。
- 外観品質や加工適性は同程度に優れる。



## 主な取組内容

- 収量、品質向上実証ほの設置
  県下10か所に設置。現地検討、成績検討会を開催
- 栽培技術マニュアルの作成
- 品質評価の実施
  品質分析、実需者による評価を実施
- 生産者研修会の開催
  技術指導や産地と実需者との意見交換を実施

## 実施体制図




## 課題と今後の対応

**【実証結果の概要】**

- 地域適応性を検討。耐倒伏性に優れ、百粒重は重く、107%と多収（フクユタカ対比）。
- 実需者による品質評価は、「フクユタカ」と同程度に優れる。

**【産地づくりへの活用・展開】**

- 栽培技術マニュアルを基に、生産者研修会等で、品種特性および栽培技術を周知。
- 実需者との意見交換を実施し、安定生産に取り組む。
- 令和3年産は27ha程度まで拡大予定。